

すみた

議会だより

支えあふ共生の町
未来に責任と希望を (定例会あらまい)
令和3年度予算 注目玉事業
町民目線にたつて厳し◇審議
町の考えを問う (◇議員が一般質問)
追跡レポート 上有住地区公民館改築
すみた想い人

- ②
- ⑤
- ⑥
- ⑩
- ⑱
- ⑲



No. 173

令和3年
4月16日

「全員そろってハイチーズ！」

《世田米保育園》 関連記事20p

支え合う共生の町

未来に責任と希望を

第12回定例会
(3月議会)
あらまし

新年度ビジョン2021

心一つに

叶

新型コロナウイルス感染症対策

- 正確な情報提供と基本的感染対策
- 関係機関との連携による円滑なワクチン接種

医

健康まちづくりの推進

- 健康セルフサポート事業
- 看護師の育成・確保（「奨学金返還補助金」創設等）

食

食産業の推進

- 農林産物、加工品の近隣消費地での認知度向上推進
- 地域産物、加工品等の充実と新商品開発

住

住まい環境の改善

- 住宅リフォーム・住宅建築・浄化槽設置事業
- 移住・定住の住まい確保（空き家バンクの活用）

第12回定例会（3月議会）は、3月2日から12日までの11日間の会期で開かれました。町長施政方針演説、教育長教育行政演説の後、一般質問には7議員が登壇。新型コロナウイルス対応、町独自経済対策、介護保険事業計画、地域おこし協力隊などについて町の考えをただしました。本会議では、2年度補正予算、町条

例の制定や一部改正、指定管理者の指定、辺地に係る公共施設の総合整備計画、3年度当初予算などを審議し、全28議案を原案のとおり可決しました。
「安全・安心の医療・介護の実現といのちと健康を守るための請願と意見書」は、全員賛成で採択となりました。

町長の施政方針



神田謙一町長

持続可能なまちづくりに向け、「着眼大局着手小局」を胸に、住民も行政も心をつなげて、未来に責任と希望を持てる「支え合う共生の町」の実現に全力で取り組みます。

ひと／人口対策

- ◇ 妊娠・子育てへの支援
- ◇ 教育環境の整備
- ◇ 社会福祉の充実

まち／生活環境対策

- ◇ 環境施策の推進
- ◇ 公共交通システムの構築
- ◇ 生活関連施設の整備
- ◇ 情報発信の強化
- ◇ 地域安全対策の推進
- ◇ 地域コミュニティの強化
- ◇ 芸術文化、生涯スポーツの推進

しごと／所得対策

- ◇ 農業の振興
- ◇ 林業の振興
- ◇ 商工業の振興
- ◇ 観光産業の振興

新型コロナウイルス

ワクチン接種体制構築へ

住民向け集団接種

住田診療センター軸に

令和2年度一般会計補正予算で新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費が承認されました。財源は、国庫支出金で総額284.5万円です。

4月以降に順次住民へのワクチン接種が開始され、高齢者等への接種体制準備のための予算となります。主な質疑内容は次のとおりです。

ワクチン接種対応

- ①会計年度任用職員1名の採用（4月から）
- ②接種会場へ高齢者等を輸送するための自動車借り上げ料
- ③ワクチン接種者の個人情報管理するためのシステム改修費
- ④超低温冷凍庫を設置するための工事費
- ⑤消耗品、備品の購入

問 ワクチン接種に対する町民の意向をどのように把握していくのか。

答 接種には町民の意思表示が必要となる。ハガキと封書のいずれかの方法を検討している。

問 ワクチン接種回数管理方法は。

答 接種希望者へは接種券を配布する。接種会場でのバーコードを読み込み、健康管理システムの中で接種回数も管理していく。

問 特養すみた荘入居者への接種対応は。

答 医療スタッフが直接出向いて施設で接種できるように調整を進めている。



△ ワクチン管理の要となる超低温冷凍庫ディープフリーザー。

問 独り暮らしの高齢者などへの接種対応は。

答 訪問診療を受けている方には訪問先での接種方法も検討している。接種会場へ出向けない方には借り上げたバス等の活用を考えている。

令和2年度住田町一般会計補正予算

(単位：千円)

	補正前の額	補正額	計
(9号)	5,819,743	26,786	5,846,529
(10号)	5,846,529	26,661	5,873,190
(11号)	5,873,190	338,739	6,211,929

繰越明許費

(単位：千円)

事業名	金額
公共施設等総合管理計画個別計画策定事業	6,963
地域情報通信基盤施設放送機器更新事業	23,210
戸籍システム改修事業	6,380
新型コロナウイルスワクチン接種事業	27,199
飲料水施設整備事業	17,372
畜産競争力強化整備事業	446,135
学校保健特別対策事業	3,200

変更請負契約の締結

■ 上有住地区公民館新築工事

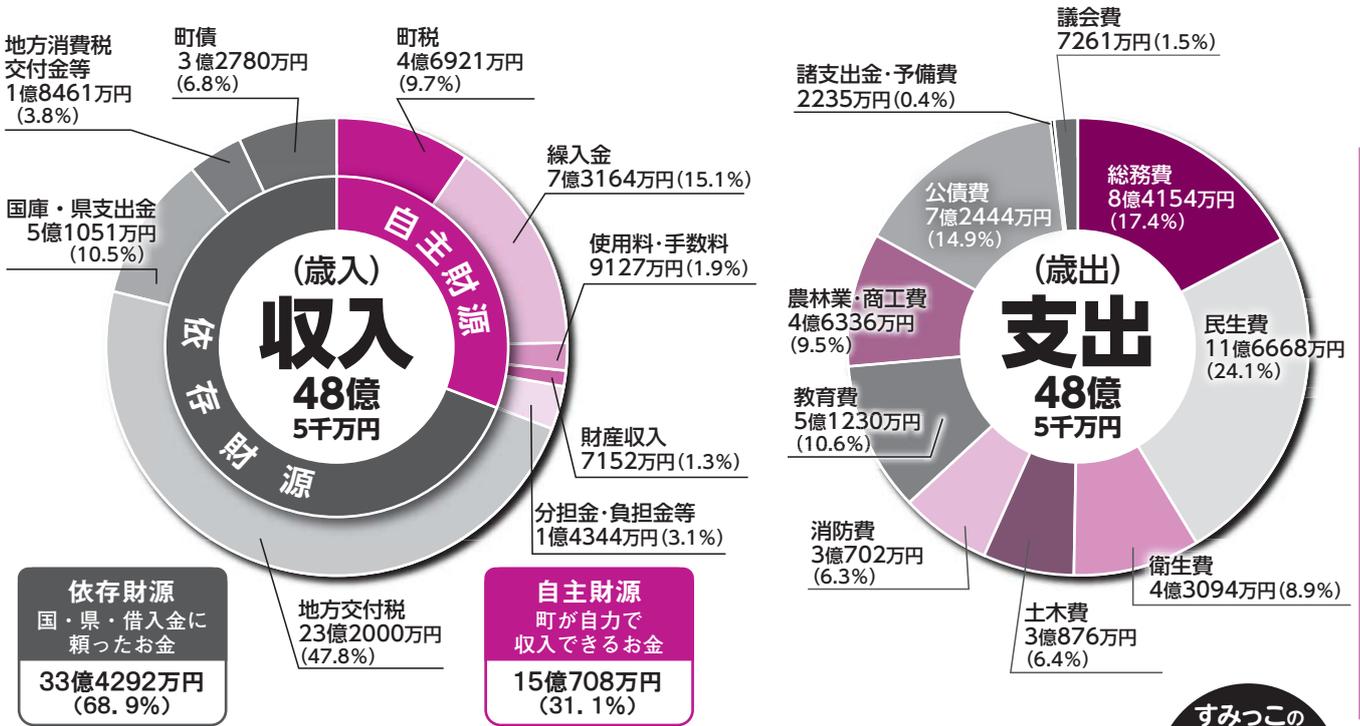
- ・ 請負者 ㈱佐賀組・宍坂井建設特定共同企業体
 - ・ 変更の内容
- | | | |
|------|-----|--------------|
| 契約金額 | 変更前 | 221,870,000円 |
| | 変更後 | 223,759,800円 |

■ 町営住宅清水沢団地新築工事

- ・ 請負者 住田住宅産業㈱
 - ・ 変更の内容
- | | | |
|------|-----|--------------|
| 契約金額 | 変更前 | 111,100,000円 |
| | 変更後 | 112,955,700円 |

持続可能なまちづくりへ

令和3年度 一般会計予算 48億5000万円



予算審査特別委員会



すみっこの用語解説

- 【地方交付税】町の財政力に応じて国から交付されるお金
- 【国庫・県支出金】町が行う事業に対して国・県から補助されるお金
- 【町債】事業の財源に充てるため国などから借りたお金
- 【地方消費税交付金等】地方消費税交付金や地方譲与税などが一定の割合で町に交付されるお金
- 【繰入金】基金（積立金）から取り崩したお金
- 【財産収入】町有林立木売却代金など
- 【分担金・負担金等】地域情報基盤施設や保育所運営の一部負担金など
- 【総務費】一般的な事務経費や財産管理などの経費
- 【民生費】高齢者や児童など社会福祉のための経費
- 【衛生費】集団検診やこみ処理などの経費
- 【農林業・商工費】農林業の振興や農道・林道の整備、商工業の振興や観光開発の経費
- 【土木費】町道や河川整備、町営住宅整備などの経費
- 【公債費】事業を行うときに借りたお金の返済金

特別会計

会計名	予算額
国民健康保険	6億3965万円
介護保険（保険事業）	10億2405万円
介護保険（サービス事業）	151万円
後期高齢者医療	7910万円
計	17億4431万円

水道事業会計

会計名	予算額
収益的支出	1億4792万円
資本的支出	1億3709万円

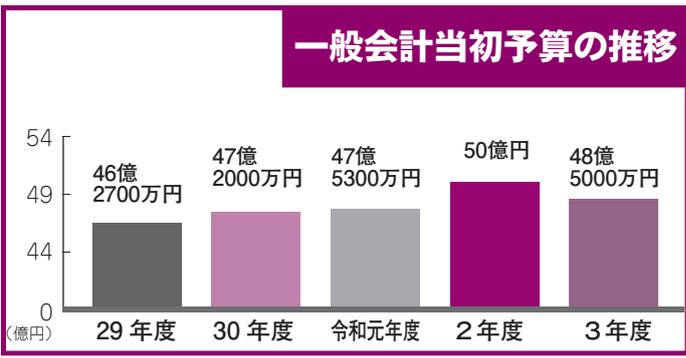
下水道事業会計

会計名	予算額
収益的支出	1億5273万円
資本的支出	3668万円

令和3年3月末日現在人口 5,179人

町民一人あたりの行政経費（一般会計）
936,475円

一人あたりの町税額は
（町民税・固定資産税・軽自動車税・町たばこ税など）
93,804円



令和3年度 予算

注目★目玉 事業

3月議会では、予算審査特別委員会で予算案を審議し可決しました。(関連記事はP-6~7に掲載)
 その中で、議会が注目した事業を紹介します。
 予算額は、令和3年度のみ金額であり、全体事業費ではありません。

予算審査特別委員会

地域づくり

仕事・学びの場の創出

問 応急仮設住宅本町団地の跡地活用策は。

答 リモートワークやワーケーションの新たな働き方の場や中高生に将来の進む道や生き方を学ぶ場を提供し、多様な暮らしの創出や人材の発掘などを通して、町の活性化に寄与するための「仕事・学びの場」としての活用を進める。敷地内には、住田型仮設住宅の実物1棟を再現し震災関連資料の展示スペースも設ける。

■主な使い道

- ・仕事・学びの場創出 9780万円
- ・つながり創出事業 1100万円
- ・移住支援事業 1001万円
- ・関係人口創出事業 1100万円
- ・空き家対策関連事業 788万円

医療・福祉

看護師確保に新たなスタート

問 看護師確保のための奨学金の返還補助金の創設や返還免除制度を拡充するねらいは何か。

答 民間等の奨学金制度の利用者に対し、看護師として町内に就職することを条件に返還金に対する補助金を新たに創設するとともに、現行の町の奨学金返還免除制度に、町内への就職を条件に1年目から返還免除の対象とするよう制度を拡充することにより、看護師確保を図る。地域おこし協力隊制度を活用した看護師確保も図る。

■主な使い道

- ・保健医療介護連携体制構築事業費補助金 1700万円
- ・看護師確保対策奨学金返還補助金 19万円
- ・地域おこし協力隊設置(ナースプロジェクト) 431万円

防災

避難所に無線LANを整備

問 近年頻発する災害対応に、消防団活動支援と防災対策強化をすべき。

答 災害現場等における消防団員の情報伝達の省力化や効率化を図るため、消防団に小電力トランシーバーを配備する。防災対策として、新たな急傾斜地の危険箇所を反映させた防災マップを作成するほか、災害時に避難所となる体育館・生涯スポーツセンターに無線LANを整備する。

■主な使い道

- ・消防防災施設整備(消防車両、小電力トランシーバー) 1984万円
- ・防災対策(防災マップ作成、避難所無線LAN機器整備、防災行政無線設備整備、移動系無線設備整備) 7974万円

教育

「地域創造学」の指定継続

問 地域の未来を創造する心豊かでたくましい児童生徒を育成するとしているが。

答 研究開発学校の指定を受け取り組んでいる新教科「地域創造学」の研究開発に引き続き取り組むとともに、指定の継続を目指す。「住田高校魅力化事業」の一環として「住田高校魅力化構想」を策定するなど、学校と地域が一丸となり中山間地域の未来を担う人材の育成に注力する。

■主な使い道

- ・教育研究開発事業 1063万円
- ・住田高校魅力化(教育コイデイナーター、住田高校魅力化構想策定) 1836万円
- ・奨学金貸付事業 970万円

産業

担い手対策 手厚く

問 限られた地域資源であるが、地域の産業を持続する方策は。

答 農林業では、農林業を「生業」とする世帯が減少しているが、所得向上のための農林業の推進や担い手確保等を支援していく。商工業では、町内企業のフォロワーシップや起業・事業所立地を支援していく。観光では、交流人口の拡大、地域資源の魅力の情報発信に取り組む。

■主な使い道

- ・経営継承・発展等支援事業交付金 200万円
- ・起業奨励金 1020万円
- ・担い手農業者経営支援対策事業費補助金 200万円
- ・いわてニューファーマー支援事業交付金 450万円

町民目線に立って

厳しく 審議



委員長
佐々木信一委員



副委員長
阿部祐一委員

イノシシ対策



水野正勝委員

Q イノシシの目撃情報が増加傾向にある。金網設置だけでなく、さらなる対策も検討をすべきだが。

A 豚熱への警戒も高まり、イノシシ対策をさらに広げていかなければならない。鳥獣害対策協議会や関係者と対策を検討し進めていく。

飲料水施設整備



荻原 勝委員

Q 安全な飲料水を確保するためにも、飲料水施設整備の補助金交付要件を見直しできないか。

A 現在、2戸以上で構成する組合に工事費の5割から7割を補助している。過疎化の進行で、組合要件を満たすことが難しいことも把握しており、1戸からの対象も検討したいと考えている。

検診助成



佐々木初雄委員

Q 人間ドックの受診助成対象年齢は75歳までとなっているが、80歳まで引き上げることができないか。

A 80歳まで、総合検診の中で、各種がん検診と基本健診を受けられるので利用いただきたい。予算との関係もあり、人間ドックの受診助成については、従来通り75歳までご理解をいただきたい。

防災専従職員



佐々木信一委員

Q 災害から住民の命を守るためにも、防災専従職員の配置が必要ではないか。

A 防災を主として担当する職員を配置している。防災は、重要な業務であり、限られた職員の中で各課の連携を強化しながら防災体制の充実を図っていきたい。

賛成討論

水野正勝委員

課題に誠心誠意に取り組む予算

限られた予算、人員、体制の中、かつて経験のない未知の新型コロナウイルス感染症と向き合い、感染防止対策や町独自の経済対策などの施策に取り組みながら、従来からのまちの課題である医・食・住の三つの柱、人口減少、少子高齢化、森林・林業日本一のまちづくりの誠心誠意取り組みものと捉え、あらゆる施策を吟味、精査して優先する。



令和3年度の一般会計及び国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の特別会計、簡易水道・下水道事業会計は、予算審査特別委員会（委員長 佐々木信一議員）で審議しました。町政全般にわたり、数多くの質疑がありました。その中から、いくつかをお知らせします。



△ 仕事・学びの場、震災遺構として生まれ変わる本町仮設団地。



△ オリンピック・パラリンピック。町でも様々な企画を予定。



△ 新たに加わったベジソースなど魅力が向上の返礼品。

Q 住田地域診療センターの医療体制の充実と医師確保の取り組みは。

A 医師確保は、県医療局、大船渡病院に継続して要望。さらに、「未来かなえ訪問看護ステーションすみちゃん」等の医療を担う人材の育成を目的に、地域おこし協力隊として看護師を雇用する。



佐々木春一委員

医療の充実

Q ふるさと納税返礼品の品目充実のため「ふるさと納税新基準」にそって、近隣市との連携を図る考えはないか。

A 寄附件数、返礼品の種類とも増えている。品ぞろえの充実と高額返礼品も検討している。広域での連携も視野に入れて検討したい。



村上 薫委員

ふるさと納税

Q 東京オリンピック・パラリンピック競技大会市町村運営交付金の活用方法は。

A 聖火リレー事業及びパラリンピックの聖火フェスティバルとしての採火事業、レッツエンジョイプラスポイントなど、すみななどの事業実施を企画している。



阿部祐一委員

東京オリンピック

Q 空き家特にも危険空き家が散見される。空き家対策協議会が設置されたがどう取り組むのか。

A 所有者の確認や管理状況の実態を把握し、危害を発生させるような物件は、適正管理を所有者に指導していく。最終的対応として強制撤去も条例に定めている。



林崎幸正委員

空き家管理と対策



△ 農をつなぐプロジェクトで期待される地域おこし協力隊。



△ 未来を担う子どもたちを育成する地域創造学。

条例制定

ふえるか 議員のなり手 選挙費用 町が負担

地方議会の議員のなり手不足が深刻化していることから、町村の選挙において、立候補の環境を改善するため、公職選挙法の一部を改正する法律が制定されました。

これにより、今後の町長選挙および町議会議員選挙の車両使用やビラ、ポスター作成にかかる費用を町が負担することになります。上限額や手続き等必要な事項を定めようとするものです。

供託金の納入

- 町長選挙……………50万円
- 町議会議員選挙……………15万円

【用語解説】 供託金：当選を争う意思のない人が売名などの理由で無責任に立候補することを防ぐため、法務局に一時的に預け入れるお金のこと。一定の得票数が獲得できれば返却され、規定の得票に達しなかった場合や、途中で立候補を取りやめた場合は没収される。

選挙運動用自動車の使用



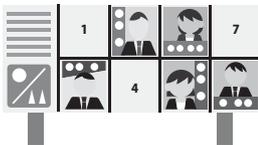
- 一般運送契約（ハイヤー方式） 上限：1日64,500円×5日（選挙期間）=322,500円
- 個別契約方式（レンタカー方式）
 - ①自動車の借入れ 上限：1日15,800円×5日（選挙期間）=79,000円
 - ②燃料代 上限：1日 7,560円×5日（選挙期間）=37,800円
 - ③運転手の雇用 上限：1日12,500円×5日（選挙期間）=62,500円

選挙運動用ビラの作成



- 作成枚数上限：町長選挙……………5,000枚
町議会議員選挙……………1,600枚
- 作成単価上限：7円50銭

選挙運動用ポスターの作成



※公職選挙法施行令で定めるポスター作成の企画費上限額：310,500円
（ポスター掲示場数が500以下の場合）

- 作成枚数上限：ポスター掲示場の数……………現行では町内57か所
- 作成単価上限：印刷費単価525円6銭×掲示場所数+310,500円）÷掲示場所数

請願のゆくえ

採択

医療・介護の
充実を

件名	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願
請願者の住所・氏名	盛岡市本町通2丁目1番36号 岩手県医療労働組合連合会 執行委員長 中野 るみ子
請願の要旨	新型コロナウイルス感染対策の教訓を経て、国民のいのちと健康・暮らしを守るため、医療・介護・福祉に十分な財源確保を行い、地域の声を踏まえた医療体制の充実を図ること。
紹介議員	菅野 浩正、水野 正勝
付託常任委員会	総務教民常任委員会
審査の結果	採択すべきものと決定
本会議での採決	全員賛成 国へ意見書提出

滝観洞・種山ヶ原 観光・レク施設を整備

辺地地域指定となる奥土倉・五葉・津付に公共的施設の整備を実施しようとするもので、整備事業の実施にあたっては、辺地対策事業債を活用するため実施に係る総合整備計画を策定するものです。

辺地に係る
総合整備計画を策定

■公共的施設の整備計画

(令和元年度から令和5年度まで 5年間)



△ 整備が計画された種山ヶ原（散策道）

地区名	施設名	事業費（千円）
奥土倉 (変更)	観光・レクリエーション施設(滝観洞)	75,049
	消防施設(消防車両)	9,020
五葉	消防施設(消防車両)	9,020
	消防施設(消防車両)	9,020
津付	観光・レクリエーション施設 (種山ヶ原)	51,312

条例の一部改正

住田町奨学資金貸与条例

人材の確保、 定着に向けて

次代を担う有為な人材を確保し、定住人口の増加を図るため、教育委員会が必要と認めるときは、奨学金の返済未済額の全部又は一部について、返還を免除することができるよう制度内容を拡充するものです。

指定管理者に同意

町内の公の施設の指定管理者指定に関する議案2件を原案のとおり可決しました。

委託指定期間は、令和3年4月1日から令和6年3月31日までの3年間です。

指定管理者の応募状況は、各施設1団体のみで、審議の結果、指定管理者として適当と認めたものです。

高齢者生活福祉センター（アムルス）



指定管理者 住田町社会福祉協議会
(世田米字川向96番地5)

農林水産物直売・食材供給施設（ぼらん）



指定管理者 住田観光開発株式会社
(世田米字小飼沢30番地39)

条例の一部改正

特定公共賃貸住宅等の設置及び管理に関する条例の一部改正

定住促進・高齢者向け住宅を新築

定住促進一戸建住宅及び高齢者向け住宅の新築整備に伴い、所要の改正を行うものです。

定住促進一戸建住宅…若者や子育て世帯の定住を進めるための住宅。

高齢者向け住宅……町営住宅からの住み替えを主なねらいとした住宅。

■令和2年度に新築整備された定住促進・高齢者向け住宅



△ 定住促進・高齢者向け住宅清水沢団地

名称	団地名	構造	面積 (1戸当たり) m ²	戸数	家賃(円)
定住促進一戸建住宅	清水沢	木造2階	76.02	2	51,000
高齢者向け住宅	火石	木造平屋	42.94	3	15,000
	清水沢	木造平屋	45.64	4	16,000

一般質問



町の考えを問う

ワクチン接種・教育・ 林業振興などで論戦

7人の議員が質問

ページ	質問者 (登壇順)	質問項目
11	おぎわら 荻原 勝	①人口動態と移住者対策 ②教育環境整備
12	ささきしんいち 佐々木信一	①新型コロナウイルス感染症対策 ②新型コロナウイルス感染症拡大に係る支援
13	ささきはるかず 佐々木春一	①新型コロナウイルス感染症の感染防止対策とワクチン接種 ②住田町第8期介護保険事業計画及び高齢者介護 ③鳥インフルエンザ及び豚熱の予防対策
14	はやしざき 林崎 幸正	①滝観洞の再開発
15	みずの 水野 正勝	①新型コロナウイルス感染症に係る町の独自経済対策 ②新型コロナウイルスワクチン
16	むらかみ 村上 薫	①新年度施政方針演述及び教育行政演述に係る「着眼大局、着手小局」 ②新たな(仮称)「過疎地域持続可能発展計画」の策定
17	あべ 阿部 祐一	①林業振興 ②こざっぱり条例の推進

なお、全文記録(議事録)は、4月下旬から役場庁舎2階の総務課と町のホームページ上で閲覧できます。

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたり、施行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずねること。質問の方法は、1回目は一括して質問しますが、2回目以降は一周ずつ質問する一問一答方式を採用しています。持ち時間は、答弁を含めて60分です。

問 協力隊 さらなる取り組みは

答 医療分野で看護師を確保

問 地域への定住・定着を目指す「地域おこし協力隊」の総括と今後の取り組みは。

答 町長

当町の地域おこし協力隊は、平成27年度から始まり、令和2年度現在で延べ13人を委嘱。現在活動している4人を除いた9名のうち、そのほとんどの方が協力隊に関連した取り組みを継続し、うち5名が町内に定住している。おおむね目的を果

たし、地域特産品の開発、農業分野の事業継承に取り組んでいる。来年度は医療分野の課題である看護師確保に取り組みしていく予定である。

問 総務省の他の制度も活用して、本町の課題となっている部分の強化とさらなる定住・定着などを図ってはどうか。

答 町長

「おためし地域おこし協力隊」は、事前に地域

に来て何日間か隊員を体験する制度。今後、希望があれば活用したい。

「地域プロジェクトマネージャー」は、地域をつなぐ役割のリーダーを委嘱する制度。今後、政策的に必要な場合は、活用したい。「公共施設経営のプロ派遣」は、今後、いろいろな事業を進めるうえで専門的な分野の知識が必要な場合は活用したい。



おぎわら 荻原 まさる 勝 議員

継続か再編か
選択がせまれる、
本町の
小中学校再編。

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 どう生かす 再編アンケートの声

答 教育審議会で検討

問 令和4年度から小中学校に学校運営協議会の設置を目指す。その意義は。

答 教育長

P.T.Aの範囲にとどまらず、学校運営に地域住民の声を積極的に生かし、学校が地域と一体となつて特色ある学校づくりを進めるために設置する。子どもたちにとつても、体験活動の充実、学びの広がり、地域の方々との関わりによる成長などが期待される。町で進めている地域創造学の円滑な授業の実施にもつながる。

問 「町内小中学校の再編に関するアンケート調査」を教育環境整備にどのように反映する考えか。

答 教育長

児童・生徒数の減少が続く中、町立学校の教育環境整備の検討を進めるため就学前の幼児から中学3年生の保護者にアンケートを実施した。その結果は現在集計中である。今後、教育審議会に町立学校の再編を諮問。今回のアンケート結果も参考に審議を重ね、3年度内に答申を受け、教育環境整備の方向性を示したい。



△ 子どもたちの明るい未来と笑顔のため再編アンケートを生かしたい。

問 集団接種場所は

答 住田地域診療センターで



さ さ き しんいち 議員
佐々木信一

町の考えを問う

問 新型コロナウイルスワクチン接種順位や接種体制及び接種場所をどのように考えているのか。

答 町長 住田地域診療センターを軸とした集団接種を予定している。3月下旬から医療従事者のワクチン接種を開始。4月以降に、65歳以上の高齢者、65歳未満で基礎疾患を有する方、高齢者施設の従事者、16歳以上64歳までの方などが順次接種していく計画となる見込み。

問 新型コロナウイルスワクチン接種後に副反応が起きた場合の対応は。

答 町長 町民が安心して接種できるように情報提供や相談窓口を設置するとともに接種前の説明や問診を十分行い、接種後は、15分以上の経過観察、過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方は、接種後30分間の経過観察をする。副反応が確認されても接種会場が住田地



議員のつぶやき



△ 新型コロナウイルスの感染拡大の影響が懸念される世田米商店街。

問 町単独事業の支援効果は

答 町民の支援機運高まる

域診療センターで迅速な対応は可能であるが、住田分署との連携も図り万全の態勢で取り組みたい。

問 新型コロナウイルス感染症拡大に係る支援策の効果と課題は。

答 町長 町単独の経済対策とし

て、「食べて応援住田チケット」「使って応援住田チケットプラス」「使って応援住田プラス」の4事業を実施した。その総額は1億8千949万円、町内の感染拡大の影響を受けている飲食店、事業者等への経済に効果があったと捉えている。町民の事業者等を応援する気運も高められた。購入がかなわなかった方や長時間並ぶ状況があったことは、今後の事業構築における検討事項と捉えている。

問 介護保険料の軽減を

答 月額6300円据え置き

問 令和3年度から3年

間を計画期間とする第8

期介護保険事業計画で定

める介護保険料基準額を

軽減できないか。

答 町長

要介護認定者数の増加

とともに、施設サービス

利用の高まりや、新規事

業所の開設など選択でき

る介護サービスが増え、

介護保険給付費の増加傾

向が続くが、町民負担を

配慮し、介護保険準備基

金を適切に活用すること

で、月額6300円の据え置きとした。

ポートを継続していく。

問 独り暮らしや高齢者

のみの世帯が多く見ら

れ、日常的なサポート体

制が必要であるが。

答 町長

高齢者が安心して日常

生活が送れるよう見守り

体制や社会福祉協議会な

ど関係機関と連携を密に

しながら適切な介護サー

ビスにつなげるなど様々

な介護サービスによるサ

問 介護人材確保・処遇

改善の支援策を考えて

は。

答 町長

介護従事者の高齢化や

離職が見受けられ、介護

人材の育成・確保が必要。

介護従事者の安定的な確

保に向けた処遇改善が行

われるよう国に要望して

いく。



ささきはるかす 議員
佐々木春一

コロナワクチン接種を
ひかえ、町民の命と
健康を守る要として
住田地域診療センターの
役割は大きい。

議員のつぶやき

町の考えを問う

■住田町介護保険料（基準月額）の推移

計画期間	第1期	第2期	第3期
年度	H12～	H15～	H18～
介護保険料(円)	2,600	2,800	3,100
計画期間	第4期		
年度	H21	H22	H23
介護保険料(円)	3,700	3,750	3,800
計画期間	第5期	第6期	
年度	H24～	H27～	
介護保険料(円)	4,300	6,000	
計画期間	第7期	第8期	
年度	H30～	R3～	
介護保険料(円)	6,300	6,300	

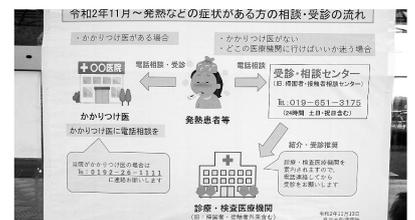
問 新型コロナPCR検査の拡充を

答 ワクチン接種優先に

問 無症状陽性者を早期発見し、保護、治療に結び付けるためにも、PCR検査等を抜本的に拡充し、社会的検査に取り組むべきだが。

答 町長

医療や介護、保育関係者など社会機能の維持に必要な分野で働く方々が、定期的に検査する新しい仕組みづくりの重要性は理解しているが、検査体制の強化や費用負担など医療資源が少ない当町では、多くの課題がある。まずはワクチン接種体制づくりを優先的に取り組む。



△ 新型コロナウイルス感染症の相談・受診の流れが表示されている県立大船渡病院。

鳥インフル・豚熱の防疫

問 国内で鳥インフルエンザ及び豚熱(豚コレラ)の発症が確認されている。防疫対策の徹底を図るべきだが。

答 町長

「死亡した野鳥やイノシシを発見した場合」の役場や家畜保健衛生所への連絡や対応方法を全戸に回覧。気仙川付近での野鳥への餌付け防止の看板を設置し注意を喚起。養豚事業者にはイノシシ侵入防止防護柵設置への助成など感染予防対策を実施している。

問 釜石住田線 早期改良を

答 改良実現に向け予算化



はやしぎ 林崎 さちまさ 幸正 議員

町の考えを問う

滝観洞と道路が良くなっていく時期がようやくやってきた。

議員のつぶやき



△ 町民の願いが予算化された釜石住田線「おどし」付近。

問 滝観洞へのアクセス道である県道釜石住田線の道路改良を、どのように考えているか。

答 町長 県道釜石住田線は、多くの地域住民が日常的に使用する重要な道路。通称「おどし」などは、幅員狭小、急カーブで大雨の際は冠水するなど、早

期の改良が望まれ、県に事業の要望をしてきたが、令和3年度岩手県当初予算案にこの道路改良事業が盛り込まれた。改良区間は、上有住中坪から金の倉間で計画区間延長900メートル。令和3年度測量設計、令和4年度に用地買収、令和5年度から10年度の工事予定。

問 滝観洞の再開発をすべぎと考えるが、整備計画をどのように考えているか。

答 町長 整備計画のコンセプトは、「洞窟と周辺施設が一体となった観光体験の提供」とし、段階的に整備や取り組みを進める計画の素案をまとめた。

町外からのアクセスが良く、町内の観光資源の中でポテンシャルが高い立地条件にある。入洞者のアンケート結果で、滝観洞は町の観光資源として魅力を十分備えていると評価されたが、洞窟周辺の受付・飲食・休憩施設が老朽化し使いづらく、景観的にも課題があることから、滝観洞の活

問 滝観洞の早期再開発を

答 施設整備計画を作成



△ 滝観洞への誘客が期待される新たな施設整備計画。

問 老朽化した滝観洞観光センターを温泉も備えた施設に建て替えをすべぎと考えるが。

答 町長 観光センターの整備計画は、今後、中長期的な整備計画（案）が具体化する中で検討していくことになる。

短期の計画案で、滝流しそばと洞窟受付プレハブを一体的に建て替え、一階に売店、事務室、受付、トイレ、二階に調理室、食堂の機能を備えた施設を整備することとしている。

問 事業者への公平性を

答 平等な支援で配慮

問 今年度の町独自経済対策の評価と事業者などへの公平性をどのように捉えているか。

答 町長

町民の事業者等を応援する機運を高めるとともに、事業者等への経済に効果があつたと捉えている。

特にも行政においては公平性が求められる。経済社会において、その実現は難しい面があると捉

えているが、対象事業者がより平等に支援を受けられる仕組みづくりで最大限配慮した。

問 すみチケ未来の上限を5セツトにした背景と結果は。

答 町長

支援がすべての飲食店に届くよう配慮した。販売数が少ない場合、支援される店舗の偏りが懸念された。支援金額に

差は生じたが全飲食店に支援が届く結果となった。

問 今後の経済対策の展開は。

答 町長

これまでの経済対策の課題解決を図りながら、事業者を直接支援する形と住民が事業者を応援する形の2つのタイプの支援策を商工会と検討していくことになるかと考える。



まさかつ 正勝 議員
みずの 水野

新年度でもさらなる経済対策が必要です。地域経済の回復と発展を。

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 ワクチン接種の目的は

答 集団免疫で早期収束

問 新型コロナワクチンを接種する目的とリスクや安全性は。

答 町長

予防接種法に基づき、厚生労働省の指示により市町村が主体となつて実施する臨時の予防接種で、新型コロナウイルスの早期収束のためにワクチン接種を推進する。

ワクチン接種では、何らかの副作用が生じることもがあり、100%の安全性を求めることはできないが、集団免疫を獲得

するための接種の意義は大きい。

問 ワクチン接種を希望しない町民への対応は。

答 町長

ワクチンの有効性や副反応等、丁寧な情報提供や説明に努めながら、接種を推進したい。接種は努力義務となつている。同意が必要で強制はできない。接種を希望しない方への誹謗中傷等は許されない。その点も周知しお願いしていく。



△ 町民の新型コロナワクチン接種会場となる住田診療センター。

問 目指すべき SDGs未来都市

エスディーゼーズ



むらかみ 村上
かおる 薫 議員

町の考えを問う

答 総合計画で取り組む

問 新年度町長施政方針演説及び教育長教育行政演説は、「着眼大局」の考えが十分とは言えず、そのことが各施策の「着小手局」につながるとの観点から伺う。

答 町長 SDGs理念を各施策とどのように連動を図り、SDGs未来都市を目指すそうとするのか。

答 町長 総合計画の結婚、子育て、教育など18の政策分野に取り組むことで、関連するSDGs17のゴールに向かう取り組みをするものと捉えている。

SDGsは、地球を守ることはあるが、実は、地域や自分を守ることでもある。

議員のつぶやき

問 DX(デジタル変革)は、過疎や辺地の町であるからこそ、活かし方で不利条件を克服できる。具体的取り組みは。

答 町長 国では地域社会のデジタル化も掲げている。町のデジタル化は、より多くの町民の利用がその効果を増す。どのような行政サービスがより効果的か検討し進める必要がある。

※SDGs 持続可能な開発目標。2015年に国連サミットで採択された国際目標。「誰一人取り残さない」を基本理念に、全ての人が豊かに暮らす世界の実現を目指す。



△ 町の政策にどう取り込むか。SDGs17の目標。

問 I-LC誘致実現の対応は

答 グリーンI-LCの具現化

問 I-LC北上山地誘致実現は、グリーンI-LC実現でもあり当町が目指す「森林・林業日本一」とも深く関わる。どう対応する考えか。

答 町長 地元への様々な効果の期待が高まる。グリーンI-LCの具現化などに本町が貢献できることを進めていく。

問 過疎債活用実績と評価は。

答 町長 地域医療確保、町営住宅整備、農林商工業活性化

昨年8月、I-LC誘致を促進する「東北I-LC推進センター」が発足。I-LC誘致実現により、

問 新過疎対策法は、この4月施行を目指している。いつまでに町新過疎計画を策定する考えか。

答 町長 法案提出後の具体的なスケジュールに基づき、総合計画との整合性を図りながら策定作業を進める。

問 山元への還元策を

答 大径木の製材対応

問 昭和40年代に拡大造林として植栽された杉や赤松が、伐期を迎えているが、大径木の価格が低迷し山元への還元が進んでいないが、木工団地内の製材部門では大径木に対応できない。さらに製材ラインや乾燥機がすでに耐用年数が過ぎており、設備の更新が喫緊の課題である。町として国や県に早期実現に向けて取り組むべきと思うがどうか。

答 町長

木材加工施設等の施設整備は、事業体、県、町で協議しながら昨年末に国へ要望書が提出された。今後は、国及び県の事務手続きが済み次第事業に着手し、令和3年度内に施設整備が完了する予定。整備予定の製材機械は、50cmまで製材できることになっている。

答 町長

林業事業体における新規就業者の雇用条件や技術者の能力の向上等の取り組みを支援してきた。今後はICTの活用や作業の省力化など、担い手不足を補う新技術の導入を考えるとともに、地域おこし協力隊制度を活用した外部人材の呼び込みも一つの手段として、より効果的な担い手育成の施策を検討していく。

問 林業従事者の高齢化が進んでいる。担い手対応



あべ ゆういち
阿部 祐一 議員

山元への還元が進んでくれればいいなあ。

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 町有林の長期森林計画は

答 持続可能な有効利用



△ 林業従事者の高齢化は大きな課題。

問 町有林は貴重な自主財源にあたる。町有林の長期的な森林計画をどのように考えているのか。

答 町長

町有林の大きな面積が利用可能な段階に入ってきている。適期での主伐、分取造林等からの町有地返戻箇所、町有林の主伐跡地の造林適地への再造林、適期の森林の保育作業等を進めることに

より森林資源の持続可能な有効利用を図るとともに、森林の持つ多面的機能の発揮にも配慮しつつ適切な森林管理に努める。

ニホンジカ等の食害、松くい虫被害、林業各段階におけるコスト削減・低コスト化、労働力及び、担い手確保等の対策を図っていくことが、課題と捉えている。

追跡レポート⑦① 一般質問その後 どうなりました

あの提言

改築を要する拠点施設 上有住地区公民館

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているか。これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡してみました。

質問

老朽化している 地区公民館改築を

上有住地区公民館は築後46年が経過し、水道水に錆びが出るなど老朽化している。早急に改築を。

答弁

第9次（平成29年） 町教育振興基本 計画に盛り込む

地域活動の拠点、災害発生時の上有住地区対策本部、地域住民の避難所など中心的役割の施設。改築整備が必要であり、次期基本計画で具現化する。

その後

待望の地区公民館 令和3年3月 完成

地域住民の声を活かした上有住地区の拠点施設が完成。木造平屋建で気軽に利用できるスペースとなっている。



△ 地域住民待望の新上有住地区公民館。

すみた想い人⑤

町民の皆さんに登場していただく企画になります。町や議会に対しての意見、活動を通して「まちづくり」に對しての想いを紹介していきます。



△ 遊休農地活用でそばの種まきに取り組んだ下有住地区の方々と共に。

今回は、下有住地区に移住して5年目、新規就農者として日々奮闘している平林慧遠さんです。地域おこし協力隊として活躍後、新たな農業の担い手となり地域の皆さんと共に活力ある地域づくりにも取り組んでいます。



△ ひらばやし へいりん さん (下有住字中上)

農業は生き物 日々の観察が大切

して良いかがわからないからです。

Q やりがいは何ですか。

A 白とうもろこしを例にとると、全国ヘイインターネットを通じて販売を行っているのですが、お客さんからまた来年もよろしくと言われることがとても励みになり、様々な人とのつながりが持てる仕事をしているなど実感しています。

Q 住田町の良いところは。

A 栽培する面積は小さい区画ではありませんが、作物を育てる上で、環境変化の著しい近年の環境下で、中山間の気候

は意外と品質にメリットがある事も感じます。

Q 町や議会に望むことは。

A もっと若者がやりがいを感じられる環境になると良いですね。



△ 丹精込めて作った白とうもろこしは、全国のお客さんに大人気です。

Q 主に活動していることは。

A 2017年から下有住地区の地域おこし協力隊で遊休農地の活用コーディネートとして活動し、2020年から白とうもろこしにんじくの栽培や、吉田養豚で三元豚の飼育をしています。

Q 活動する中で大切にしていること。

A 農業は生き物を扱う仕事であり、日々観察することが大切だと思います。これを怠ると何が問題でどう対処

議会を傍聴しよう!

町議会は誰でも傍聴できます。次の6月議会の予定は下表のとおり。

生活改善センター議会棟の入口から案内に従って傍聴席へお入りください。

令和3年3月議会の傍聴者は20人でした。



6月議会は

日	月	火	水	木	金	土
		6/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

住田テレビ放映もどうぞ



本会議や一般質問の様子は、住田テレビの「議会放送」でもご覧いただけます。

放映時間は、午後6時からです。



パート5 わたしの未来

住田町の子どもたちが 将来の夢を語る

コーナーです。
自薦・他薦も大歓迎。申し
込みをお待ちしています。

活気あふれる町に

私は将来、**住田町役場で働きたい**です。それは、地域創造学の学習で、私たちが住田町で安心して暮らせているのは、役場がいろいろな政策を考えてくれていると気づいたからです。私も将来、みんなが住みやすく活気あふれる住田町にしたいです。



世田米中学校1年
むらみ ひろき
村上 大夢
(世田米字窪田)

人の命を助けたい

私は将来、薬の作成などに関わる**薬剤師**になりたいです。その理由は、薬を作ることにとても興味があるからです。そのためたくさん勉強をして正しい知識を身につけたいです。この仕事で、たくさんの人の命を助けたいと思います。



有住中学校1年
いずみだ さな
泉田 紗菜
(上有住字中沢)

編集後記

広報編集常任委員会
委員 菅野 浩正

長く厳しい冬でした。三寒四温、桜の便りが早く近づいています。
東日本大震災から10年。復旧、復興の様子が特集報道で展開されました。記録と教訓を生かす防災教育の大切さを再認識したところです。
また、新型コロナウイルスが生活を脅かすようになり早一年。ワクチン接種も始まり、早い収束で安心した生活ができることを願います。

表紙の写真



世田米保育園



暖かい春の日差しを感じられるようになった4月。世田米保育園では、新ぶどう組さん15名が、リーダーとして保育園最後の一年をスタートさせました。持ち前の明るさと元気で、世田米保育園の先頭に立てられること間違いなしの子どもたち。さあ、このラストイヤー！どんなドキドキとワクワクが待っているのか…今から楽しみですね。

広報編集常任委員会

発行責任者

- | | |
|-------|-----------|
| 議 長 | 瀧 本 正 徳 |
| 委員 長 | 菅 野 浩 正 |
| 副委員 長 | 佐 々 木 春 一 |
| 委 員 | 佐 々 木 信 一 |
| | 佐 々 木 初 雄 |
| | 荻 原 勝 勝 |
| | 水 野 正 勝 |

